

感想

- ・評価は難しいと思っていたが、肩肘張らなくてもよいところことで、今度、今の取り組みを見直す契機になったと思う。
- ・もう一度自分で研修を深めようと思った。それは、先生のお話が、①自分が考えていることのライン上であったが、もう少し自分のやり方を精査したい、その必要があると感じた。②学校経営にとっても重要、有効（学校評価）と改めて感じた。身近な例をひいていただいて、分かりやすいお話しでした。とても参考になりました。
- ・①学校が力を入れているところを中心に評価すればよいことがわかり、安心した。
②学校評価により少しでも学校が改善されていくよう努力したい（方向がみえてきた）。
- ・私たち自身を振り返るきっかけとするものであるという評価に対しての考え方は、よくわかった。ただ、評価シートを現実的に作ったり、評価に関する共通理解等の時間のことを考えると、子どもと向き合う時間が益々減るのではないかと不安である。
- ・学校評価の意義や目的は分かりましたが、それを評価者に理解してもらうための説明会なり研修会等が必要と思われます。現在、行われている研修は、それができているのでしょうか。また、学力テストが実施され、結果公表等が問題になっていますが、学校の評価を点数で考える人も多いのが、現実ではないのでしょうか。
- ・等身大の学校理解は互いにとても大事です。それは、自己評価では限界があるのでは？
- ・お話しを聞いて、考え方が変わりました。地域や保護者にビジョンを伝えるためにも、有益だととらえられる様になりました。先生のお話だと関係者評価委員もわかりやすいし、力を貸してくださると思います。元気が出るお話しでよかったです。納得しました。
- ・精緻化すればするほど実態と乖離するというのは本当だと思います。なんだかほっとしました。
- ・「自己評価をチェックしてもらい、先生たちに元気になってもらう」という言葉で、肩の荷が軽くなった。
- ・学校評価の本質が見えた。学校の現状を見直すきっかけになればよいということがよくわかった。
- ・自信が持てた。
- ・地域に開かれた学校づくり、信頼される学校づくりを常に意識して学校づくりをすすめてきているのですが、学校評価の仕方によっては、さらに信頼される学校づくりの一助になることがわかりました。
- ・学力テストの結果等ある断面だけで、学校が評価されるのは、はがゆい思いがある、外部から見えにくい所で頑張っている。先生方の姿が正しく評価されるような評価であれば、職員も労をおしまず、評価に真剣にとりくんでいくと思う。

【研修の風景】

